

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		敬老事業				②事業番号		4510	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
						年度		○ 設定なし	
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		○ 要綱	
								計画等	
								その他	
⑦実施手法		直営		○ 全部委託		一部委託		○ 補助・負担	
								その他	
⑧関連予算科目コード		款		3		項		1	
								目	
								9	
⑨担当部名		健康福祉部		⑩担当課名		長寿社会推進課		細目	
								7	
								会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 75歳以上の泉南市民		① 人数(3月31日現在)		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
長年にわたり社会に貢献された高齢者を敬愛するため、以下の事業を実施する。 1)金婚式を祝う会の開催(婚姻50年経過) 2)百歳到達祝い品の支給 3)敬老祝い品の支給(75歳以上対象)		① 金婚式開催数		回	
		② 百歳到達者高齢者祝い数		回	
		③ 敬老祝い品対象地域		地域	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
長年にわたり社会に貢献された高齢者を敬愛する。		① 金婚式出席者		組	
		計算式			
		② 百歳到達者		人	
		計算式			
		③ 敬老祝い対象高齢者		人	
		計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
高齢者の福祉増進に寄与する。		政策(章) 2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち			
		施策大(節) 3 みんなで支えあう福祉のまちをめざします			
		施策中 2 高齢福祉の充実			
		施策小 3 自立支援・生きがいづくり			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①		人数(3月31日現在)	人	8,654	8,919	9,036	9,050	—	
対象指標②									
活動指標①		金婚式開催数	回	1	1	1	1	—	令和3年度より、祝 い品の配布を廃止 し、補助金の交付の み実施。
活動指標②		百歳到達者高齢者祝い数	回	8	13	11	13	—	
活動指標③		敬老祝い品対象地域	地域	30	28	30	0	—	
成果指標①		金婚式出席者	組	36	49	37	37	—	
成果指標②		百歳到達者	人	8	13	11	11	—	
成果指標③		敬老祝い対象高齢者	人	4,349	4,302	4,459	7,000	—	事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
事業費	投入人員	正職員	人	0.27	0.27	0.56	0.56		
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.50	0.50	0.30	0.30		
	事業費	人件費(投入人員＊単価)	千円	3,021	2,916	4,812	4,812		
		直接事業費	千円	6,306	7,395	7,590	5,947		
総事業費		千円	9,327	10,311	12,402	10,759			
財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0		—
	府支出金		千円	0	0	0	0		
	受益者負担金		千円	0	0	0	0		
	その他特定財源		千円	5,000	6,655	6,881	5,947		
	一般財源		千円	4,327	3,656	5,521	4,812		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	長年にわたり、社会に貢献された高齢者を敬愛し、高齢者の福祉の増進に寄与するため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	高齢化の進展に伴い、対象者が増加している。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	金婚式の内容を検討の上、敬老事業についてプログラム処理を実施した。

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

B

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

B

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞ イ ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)	
＜今後の展開方針＞ b a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	75歳以上の市民全員を対象とするのではなく、75歳到達時のみ、喜寿、米寿、白寿等節目においてお祝いをする等の縮小を検討。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	補助金の使い方について特に制限を設けていないが、敬老会を通年行事としている地区もあるため、用途について制限を設けるか検討。